

# 実践してみてわかった ワンルーム投資の「安定感」

## 渡辺 瞬

研究機関勤務兼不動産投資家

### Shun Watanabe

1987年、福島県いわき市生まれ。2012年、筑波大学大学院修士課程修了後、研究機関に就職。その後、働きながら博士号を取得し、インフラ系の研究者として活躍中。不動産投資は2016年からスタートし、現在は都内に5戸の中古ワンルームマンションを所有。AFP(Affiliated Financial Planner)の資格も持つ。家族は妻と子ども2人。

不動産投資というと、自分で物件を選定・管理する手間がかかり、仕事が忙しいサラリーマンには難しいと思われがちだ。しかし、実際はどうなのか。ここでは、5戸の物件を持つ現役サラリーマン不動産投資家の生の声をお伝えする。

取材・構成：坂田博史

### 一度は断念するも その2年後に始めた理由

2016年、29歳のときに最初の1戸目を購入し、現在は都内に5戸の中古ワンルームマンションを所有する渡辺瞬氏。

そもそもどうして不動産投資に興味を持ったのだろうか。

「私は好景気の時代をまったく知りません。その影響もあり、豊かな生活を送っていくには、本業の仕事で稼ぐだけでなく、投資も必要不可欠だろうと新卒時から考えていました。

そこで社会人生活に慣れたあたりから、投資関係の本を読んだりセミナーに参加したりするよう。その中でロバート・キヨサキ著『金持ち父さん貧乏父さん』を読み、衝撃を受けるとともに、不動産投資という選択肢があることを知りました。それをきっかけに不動産投資の勉強をスタート。すると、実際にいくつかの種類があり、中でも自分には「中古ワンルームマンションを長期所有し、家賃収入をコツコツと得ていくやり方が向いていることも、次第にわかつてきました」

その後、まだ20代のうちに最初の1戸目を購入したわけだが、迷いはなかつたのだろうか。

くだけで、何の連絡もありませんでした。その営業姿勢に好感を持つと同時に、自信を感じたのは間違いありません。

また、「管理が強い」と口コミで聞いていたことも大きな理由です。空室になつて賃料収入がなくなるのが一番のリスク。それで聞いてみたのですが、誰もがここで何人かの先輩オーナーさんに信頼度が高いと感じられるものます。直接会って聞いた情報は、本業収入

ばかりで、私の背中を押してくれるものでした。それで自分が連絡をとつたんです」

その後、港区・浜松町の築15年のワンルームマンションを約2000万円で購入することに。「契約書に押すはんこが重かたのを今でも覚えています(笑)。それでも決意が揺らぐことはありませんでした】

続いて、実際にワンルーム投資を始めてみて感じたこと、わ

かつたことを聞いた。

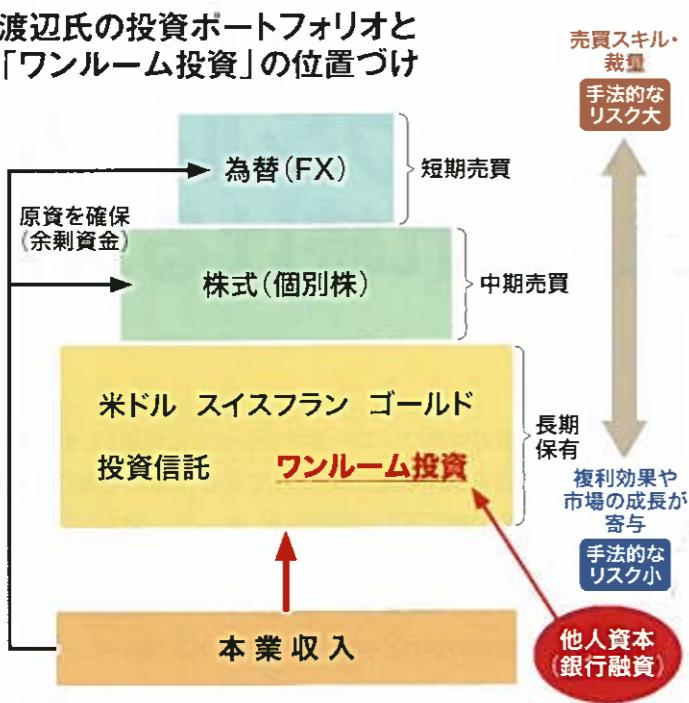
「実感したのは、本当にやることがない」ということです。購入物件の管理はすべて日本財託に任せることができ、自分でやることと言えば、ときどき数字を確認するくらい。証券投資と一緒にです。

空室に関しても、私の場合はこれまでの7年間で延べ4週間だけ。心配いらないと聞いていましたが、これほど少ないとは正直思つてもみませんでした。

アパート経営は「事業」であり、私はワンルーム投資が合っていると思っています】

17年に2戸目を購入。以後、1年に1戸のペースで買いつつ、4戸所有したところで新型コロナウイルスの感染拡大が発生。影響はあつたのだろうか。

「コロナショックで株価は一時、大幅に下がりましたよね。それに対しても、東京の不動産価格も家賃も下がることはありませんでした。東京から人口が流出するのではないか」と心配しましたが、それも杞憂に終わりました。私にとって東京ワンルーム投資の



### 会社員には給料以外にも 得られるもののが数多ある

最大の魅力は、この安定感です。株は価格が乱高下したときなど、どうしてもそれが気になり、不安感が増します。仕事中であってもスマートフォンで株価を見ることができ、売買までできてしまします。しかし、こうした不安な心理状態で売買しても損をするだけ。もちろん、仕事にも大きな支障が出ます。

なので、株式投資は今まで続けていますが、日中は仕事に集中し、投資に使うのは夜と週末の時間だけと決めています。

東京ワンルーム投資にはこうした心理的負担がほんの一いつで、価格変動に心を乱されがちな人ほど合つていると思います】

3戸目、4戸目と購入していくましたが、物件数が増えてもやることは変わらずで、働きながら大学院に通い博士号を取得することもできました】

また、普通に会社員をやってお断りしました】

一度は断念した渡辺氏だった

が、その2年後に実際に購入している。どういった心境の変化があつたのか。

「最初に始めたのは、株式や投資信託といった証券投資です。資本が豊富になくても金融機関からの融資を活用して始められる。その借入金も毎月の家賃収入から返済していく(物件の人間が返済してくれる)。資産形態が豊富にあって、少しこそ早く始めたほうがいい——それが早く始めたほうがいい——そこへ向いていることも、次第にわかつてきました】

その後、まだ20代のうちに最初の1戸目を購入したわけだが、迷いはなかつたのだろうか。

### 渡辺氏の「不動産投資に対する考え方」の変化

#### 始める前のイメージ

空室が心配…

トラブル対応がありそう…

#### 始めた後の実感

- 物件管理はすべて管理会社におまかせ
- 空室期間は7年間で延べ4週間のみ

本当にやることがない!

数字を見るだけで証券投資と一緒に

